

ベルギーニュース

年金まであと何年？

ベルギー労働者党によると、42年間の労働歴を得るために75%の女性、25%の男性は年金支給開始年齢となる63歳まで働かなければならないという。さらに60%の女性、10%の男性は67歳まで働かないと38年の労働歴を得られないという。しかし、44年働いた人は、60歳で年金がもらえる。年金担当大臣によると、2030年にはベルギー人の10人に1人が67歳定年制度の対象になるという。ルーバンカトリック大学(KUL)の調査によると、10人に8人の女性、10人に4人の男性は、44年間の労働歴を得られないという。



早めに退職しませんか

10/21、建設業界の労働組合は、56歳以下の7000人の組合員に早期退職制度の変更前、退職するよう呼びかけた。この早期退職の年齢は2015年1月1日から58歳に、2017年に60歳に、その後62歳へと引き上げられる。10/30までに申し出た労働者は、現在の56歳の早期退職制度が適用される。制度変更は外国人労働者の排斥が目的で、海外からの不正労働を退けている建設業界の態度は嘆かわしいと労働組合の弁。

エボラに援助の手

ベルギーは、エボラ出血熱対策のために被災国に700万ユーロの追加援助を行った。うち、国境なき医師団のベルギーチームが、ウイリス遮断対策、被災国ギニア、リベリア・シエラレオネへのケアとして300万ユーロを受け取った。また、200万ユーロはユニセフと赤十字に寄付される。開発協力局はユニセフと国連から被災地への援助物資の航空運搬用に、更なる援助出費が考えられると述べた。

マイカー通勤・通学

2000年の57%に比べ、首都ブリュッセルへのマイカー通勤が減り48%となった。しかし、走行距離は年々増えている。これに対し、フランダース地方内、ワロン地方内での通勤はともに75%、85%と車が主要な交通手段となっている。また、学生の通学手段も3地方とも車での通学は減少し、公共交通機関での移動が増加している。特に、フランダース地方19%、ワロン地方31%に対し、ブリュッセルへのマイカー通学は10人に1人と大きく減少している。



とうとう優勝

11/7、8両日、ディナンで行われたサクソフォン国際コンクールで2010年に2位となっていたロシア人のNikita Ziminが1位の座を得た。1994年21カ国から104人の参加者で始まったこのコンクールは、2014年サクソフォンを発明したサクスの生誕200年を記念して、263人の予選から26カ国109人の参加者を選んで行われた。

僕の車は君に関係ない！

11/7、ブリュッセル市内でデモ行進が行われた。南駅近くに住んでいたアブデスラムさんが外の様子を見に出かけたところ、30人くらいの覆面帽子をかぶった人たちが、怒りを表すために止めてあった彼の車を横転させたり、火をつけたりしていた。アブデスラムさんは、「怖かったので、何もしなかった。僕は電気技師で、STIB/MIVBの地下配線を担当している。車には、仕事に必要なものがすべて入っていた。仕事を2日も休んだら失業してしまう。車は高価なものではなく、ブジョーの中古車を2,500ユーロで購入した。しかし、総合保険に入っていないので、損害は補償してもらえない」と嘆いていた。

もうチャンピオンじゃない

欧州委員会の調査によると、2015年にベルギー人世帯の貯蓄率は13.3%減少し、世界一のチャンピオンの座を失うという。2000年にベルギー人世帯の貯蓄率は17%であったが、ここ15年で少しずつ減少し、2013年に13.5%に下落していた。今年は13.4%に下がり、来年は13.3%、2016年はそれ以下となる見込み。複数のエコノミストによると、これは、収益の伸び悩み、賃上げ幅の縮小、新しい雇用開拓の不足、利子の低迷などが要因という。



カード支払いは負担増？

コンサートなどイベントの席をネットを通して購入することができるが、クレジットカードでの支払いには、追加料金がかかってくる。マスターカード会社によると、商店はクレジットカードでの購入に対し、追加料金の加算を設定できる。ただ、購入した商品に比例して無理のない料金設定とすべきだとしている。特にバンココンタクトやミスターキャッシュでの少額の支払いにもしばしば50ユーロセント程度の追加料金を請求される。いずれにしても消費者に分かりやすく説明した上での追加料金としてほしいものだ。

ますます違ってくる

3人に2人のワロン人(66,1%)は、フランダース人とは違っている、またはとても違っていると感じているとワロン評価・統計研究所が発表した。10年前のワロン人のこの意識は35%であった。1200人に対する今回の調査で、78%の人がワロン人であることに誇りに思う、またはとても誇りに思っているという。この意識は、ベルギー人であることに誇りを持っていないということではない。というのも、調査対象者の79%が国を愛していると答えているからである。今回の調査で、どちらかというとならば近隣国フランスに近いと思うワロン人が増えているが、それでも54.9%の人がフランスとも全く違うと思っているとの結果だった。研究所によると、言語と文化の優位性がベルギー人としての共通意識を上回ってくるだろうという。



編集後記

フランダース地方の車両専用道の速度制限が90km/hから70km/hに変更となります。ワロン地方やブリュッセルからフランダース地方へ向かう場合は、気をつけないとスピード違反で捕まってしまう。年末・年始にかけてパーティーが増え、コンロトールも頻繁に行われます。スピードを出しすぎず、常に70km/hで走行するのがいいかもしれませんね。良いお年をお迎えください。



神野陽子 Chokito 伊藤知子  
Joji MOREAU 玲央